



松本病院

地域医療連携室だより

Matsumoto National Hospital



松本病院 麻酔科医長 新倉 久美子



患者さんが手術になることも多く、患者さんが元気になってまた先生方の許へ帰ることが出来るように、皆で努力を重ねております。

また昨年発足した緩和ケアチームは、井上部長をチームリーダーとし各メンバーが専門的な立場で関わり、入院および外来の患者さんの全人的痛みのケアを行っております。WHOの緩和ケアの定義（2002年）によると、緩和ケアは「疾患の早期より」提供されるべきであるとしています。先生方の患者さんで、ご希望がありましたら緩和ケアチームへのご紹介もよろしくお願い申し上げます。

私事ですが、学生時代硬式テニス部に所属し、おかげで社会人になっても体力だけは取り柄です。職場の方々や家族に支えられてこうして働けること、いくら感謝してもし過ぎにはなりません。「継続は力なり」を信じて今後も頑張りたいと思います。

平成5年信大卒、勤務年数の約半分が当院になります。家庭と両立させながら自分の仕事をこなすことだけでも精一杯でしたが、ふと気がつくと麻酔中のその手術室の中で自分が最年長という場面が増え、もっと勉強しなければ、周りへの気配りをしなければ、と思うようになりました。

当科は井上教育研修部長、塩沢理世医師と私の3人で周術期麻酔管理を行っております。患者さんのためにより麻酔を行うためには、

手術室看護師、外科系医師との良好な連携が不可欠ですが、その他、他科医師、病棟看護師、検査科、放射線科、薬剤科、リハビリテーション科等々、実に多岐にわたる部署との係わりが大切です。いつもスムーズな連携が取れるわけはありませんが、「患者さんの快気」を共通の目標に、改善点が挙げれば各部署内外で話し合い、問題点を共有することでよりよいチーム医療ができると思っています。開業医の先生方からご紹介された

松本病院の理念

- 患者様の立場や権利を尊重し、十分な説明と同意のもとに、患者様中心の医療を行います。
- EBMに基づいた医療を行うことにより、人の生命に関わる専門職として、質の高い医療を責任をもって提供します。
- 和とは連携である。職場の和のみならず、専門技術を総合的に連携させ、チーム医療や地域の医療連携を大切にします。
- チャレンジ精神を持ち、常に前進します。

開業医の先生紹介



上條医院 整形外科 上條 哲 先生



〒399-0705
長野県塩尻市広丘堅石39
TEL : 0263-52-3372
FAX : 0263-52-3910

はじめまして、上條医院
整形外科の上條哲（さとし）
と申します。去年の8月よ
り整形外科を新規開設し、
診療に当たっています。

上條医院は今年で34年目
を迎え、今までは現院長が
内科外科を標榜して診療を
してまいりました。私が後
を継ぐという形ではなく、
院長も現役で診療をして
おります。広丘駅前の通りを
900mほど西に向かい、少し
住宅地に入った真中にあり、
やや分かりにくい場所にあ
るのが難点です。

私は生まれも育ちも信州で、

出身大学は信州大学、医局
も信大の整形外科学教室です。
関連病院勤務も、市立甲府
病院勤務で山梨に少しいた
ことはありますが、あとは
昭和伊南総合病院、町立辰
野総合病院を行ったり来た
りで完全に信州に根を下ろ
した状態です。都会の生活
などとは無縁の人生ですが、
生来ごみごみしたところが
苦手で、渋滞はもっと苦手
なので、特に不満を感じた
ことはありません。

現院長の診療ぶりを見て
育ちましたので、自然と、
将来は地域医療に身を投じ、

開業してやってゆくものだ
と感じていました。しかし
ながら、昨今の医療事情や
環境などを考えると、すべ
ての責任が自分の肩にかか
ってくる立場というものは、
やはり生半可な覚悟ではや
ってゆけないと思えても来
ます。そんなとき、やはり
地域医療連携の中核にある
病院が近くにあるというのは、
心強いものです。MRIなど
のオーダーリングは、患者さ
んの評判も良いと思っています。

今後ともどうぞよろしく
お願いいたします。

松本の歳時記

3月20日(木) お彼岸(春分の日)
ぼた餅を食べる。

最近の診療トピックス(9)

検査料は従来より臨床面において様々なサービスを提供してきましたが、その内容はここ5年ほどの間に大きく変わったように思います。最近の診療トピックスとは少し異なりますが、当院における診療トピックスとして紹介させていただきます。

医療経済情勢が悪化するにつれ、専ら経済性のみが考慮され経費削減のためにアウトソーシングと呼ばれる検査の外注化が検討されいくつかの施設では導入されました。経済効率を考えるは当然ですが、受託業者が引き受けるのは採算性の高い自動化が進んだ検体検査だけです。当院の検査科でも機器の自動化が進んでいますが、検査結果の信頼性・迅速性・チーム医療の一員としてのサービスなどを備え、検査内容についての知識と検査の意義を理解した検査技師が必要となります。生理検査での循環器や腹部超音波のスクリーニング、病理検査での細胞診のスクリーニング、血液塗抹像や骨髓塗抹標本の評価、細菌培養あるいは同定など検体検査以外で検査技師が直接診断に関わる検査が増え、これまで以上に検査技師の資質と研鑽が必要となっています。

現代の病理検査では、原発不明癌の特定や組織型の確定あるいは治療と結びつく細胞マーカーの同定に広く免疫染色が導入されています。免疫染色は数年前までは検査技師が手染めで（抗体の調整・操作から頻繁な洗浄まで手作業で一日かけて）行っていましたが、現在は自動免疫染色装置が導入され、迅速に効率よく行えるようになり半日程度で結果が得られます。肝癌やYolk sac tumorにおけるAFP、肺腺癌におけるThyroid transcription factor-1やサーファクタント蛋白、前立腺癌におけるPSAなど腫瘍に固有のホルモンやリセプターあるいは生物活性物質があれば診断に有力です。中皮腫におけるCalretininや神経内分泌癌におけるCD56や内分泌顆粒関連物質、筋性腫瘍におけるアクチンなどでは免疫染色なしでは診断が困難です。サイトケラチンには各種のサブタイプがありますが、ある程度の臓器特異性を持っていることからCK7とCK20の染色動態から腺癌の組織由来を推定できる場合があります。リンパ管内皮細胞を認識する良いマーカーがなかった為に、癌の脈管

(次頁)



リレー形式



← (前頁より)

侵襲の評価は観察者によって大きく異なっていました。リンパ管内皮のマーカーとしてD2-40やPodoplaninが優れていることが示され、乳癌や内視鏡的粘膜切除などで採られた標本のリンパ管侵襲の評価に使用されています。分子標的療法として、乳癌でのエストロゲンレセプター・プロゲステロンレセプター、トラスツズマブに対する反応性を見るHER2の発現、あるいはリンパ腫におけるCD20等の発現など治療法の選択のためにも免疫染色が使用されています。

7年前当院に赴任した当初は顕微鏡(診断用と一台のディスカッション用)があるだけでした。血液検査室にあった画像取り込み用カメラとMacを転用し、アクセスを使って自作のファイリングソフトを作り病理診断を始めました。現在では、画像付きの報告書を各診療科外来や病棟で院内LANを通じてウェブ参照できるようになり、より迅速な診断が可能となりました。ディスカッション顕微鏡とテレビカメラを使って、組織あるいは細胞像を多人数で症例検討したり、患者さんにご自身の細胞や組織を見て頂いて説明することも可能です。患者さんの中にも、自分が戦っている癌細胞を直接一目見てみたいと感じる方が増えています。漠然とした恐怖や不安を抱くより、直接自身の目で見ることによって癌との戦いを受け入れることができたという声も聞きます。

情報化の時代のなかで、これまでも業務の迅速化には心がけてきました。今後も経済効率を考慮した上で、より良いサービスを提供していきたいと考えています。

今回は眼科の村田先生にお願いいたします。

医療情報管理部長 中澤 功

白内障手術のご案内



当院では最新式超音波白内障手術装置を導入しており、超音波を使った白内障手術をメインに行っております。
白内障のある患者さんを是非ご紹介下さい。
当院 地域医療連携室までご相談下さい。



松本病院

看護学校 閉校にあたって

教育主事 塩澤 紀子

昭和48年に開学した、松本病院附属看護学校は、1,382名の卒業生を送り出し、35年の歴史を閉じました。1,122名の就職者の多くが、長野県内の病院に就職し、234名は松本病院に就職しました。卒業生の多くは現在も現役で活躍しています。

3月1日(土)に最後の卒業式を松本駅前会館にて挙行之、39名が巣立って行きました。その後、ホテルブエナビスタにて「閉校式」「閉校記念パーティー」が催されました。多くのご来賓の方々のご臨席くださり、心のこもったお言葉をくださいました。同窓生も大勢参加され、総勢270名の盛会となりました。

懐かしい恩師との語らい、十数年来のクラスメイトと学生時代にもどっての楽しいひと時となり時間のたつのを忘れました。

写真は、最後の卒業式と記念パーティーで270名での校歌合唱の時のものです。歴代学校長・副学校長も写っています。これが最後と思うと心に迫るものがありました。

私はこのたび閉校に向けての資料作りをして、本当に優秀な看護学校なのだと再確認することができました。看護師国家試験全員合格、現役合格率99.1%、進学率は現役だけで保健師と養護教諭合わせて12.7%、助産師4.5%と全国的にも高く、卒業後もさらに

保健師・助産師・大学へ進学し、キャリアアップしています。

これまでの35年間に思いをはせると、これまでどれだけの人が、当校の学生達の為に労を惜しまずに支援してくださいましたことでしょうか。本当に大勢の方々、こころをください、見守り、知恵を絞って育ててくださいました。

地域の方々にも愛されてきたことと思います。本当にありがとうございました。これからも同窓生の縦横の繋がり、絆がひろがり、同窓生の励ましあいが続きますように。松本病院附属看護学校の同窓生に祝福と幸いが豊にありますように……。



「第33回糖尿病公開講座」を開催致しました

2月25日、糖尿病患者さん(家族含む)・地域住民の皆さん約50人が参加。看護部の皆さんの協力も得て、血糖検査。また、調理師の皆さんによるお手製の和菓子・洋菓子(人工甘味料を使用、低糖・低カロリー)などを味わって頂き、食生活の改善点を学んで頂きました。アンケートの結果をまとめました。その内の一部をご紹介します。

栄養管理室

上手な企画
でした。
これからも
よろしく。

このような素晴らしい糖尿病公開講座は、全国でもあまり例がないと思います。病院スタッフによる間食の作成、血糖値を間食前後の測定等実施していただきありがとうございました。今後も是非このような公開講座を開催していただくことを希望します。

講義と体験実習を混ぜた内容でとてもわかりやすかった。
ありがとうございました。

お知らせ

松本病院と中信松本病院は、平成20年4月1日より1つの組織となり、一緒に運営を行います。それにより下記について変更しますので、お知らせします。

名称について

(組織統合により病院名の前に組織名が加わります。)

まつもと医療センター 松本病院

まつもと医療センター 中信松本病院

診療科の変更について

松本病院での小児科の診療は中信松本病院で行います。

中信松本病院での消化器科と外科(消化器外科・乳腺外科・外科)の診療は松本病院で行います。

救急当番について

松本病院(内科・外科)

木曜日・第2土曜日・第3日曜日・第5日曜日(内科)

中信松本病院(小児科)

(火・木・金) 曜日・(第1・第4・第5) 日曜日・(第2・第5) 土曜日